



市議会だより



7月18日(木)

第3回議会報告会 & Cafe talkを開催しました。

***** 令和元年 6 月定例会一覧 *****

令和元年 6 月定例会一覧

開会	6 月 10 日	会期 15 日間
閉会	6 月 24 日	

○本会議（主な内容）

10 日	会期の決定
	提案理由説明
	補足説明
17 日	代表質問・一般質問
18 日	一般質問
	議案の委員会付託・請願の委員会付託
24 日	委員長報告・修正の動議・質疑・討論・採決
	議員派遣
	閉会中の継続審査

○委員会

10・18・19・24 日	議会運営委員会
19 日	総務文教消防委員会
20 日	産業厚生建設委員会

○議案の審議結果

予算（原案可決）	3 件
条例（原案可決）	7 件
その他（原案可決）	3 件
その他（原案承認）	1 件
請願（不採択）	1 件
合計	15 件

中滑川駅前再開発事業費を巡る議員間討議について

3月定例会で減額修正し、賛成多数で可決された「中滑川駅前再開発事業費」の予算について、市当局から再度提出されました。

この予算案に対しては、議案が付託された産業厚生建設委員会において、浦田委員より修正案が提出され、(3ページを参照) 議論が繰り広げられました。その内容の一部をお知らせいたします。

大浦委員 修正案の提案理由に同意するとともに、当局の整備計画、構想のあり方について疑問を持つている。今後のことを考えると、再度の見直しが必要ではないか。

青山副委員長 3カ月の間に開催された「市長と語る会」でも特に異論は出ていないと聞いている。近隣でもいつやるのかという意見が多い。特別委員会でもかなりの議論を行い、当局にも反映してもらっている。特別委員会での意見を考えていただきたい。

中川委員 特別委員会で検討した提案を、きちんと議長から提出していただいた。全員協議会でも説明をしている。3月定例会では説明が足りないといったが、当局は地元説明会を何度もやっている。私たちの考え

方をしっかり通していただきたい。

原委員 特別委員会の提案を当局に提出している。近隣の町内会の意見も必要だが、対象はあくまでも市民なので、議員と市民と討論して進めていくということ、計画を進めていくべきと思う。

角川委員 駅周辺の方は空き地が目について仕方がない。やっと動くと思っているところを更に長引かせることは感情的に疲れきってしまうのではない。避難場所もあまりないので、拠点になるものが線路の上にあってもよいのではない。複合化に対して、当局からは移転を視野に入れるという答弁も聞かれたので、この先、設計の段階で議論を交わしお互いに納得して計画をつくっていくのであれば良いのではない。

大浦委員 この構想をそのまま進めると、政治不信を招くのではない。まず、特別委員会の提案については、個人的に内容に納得いかない部分もあったが、質疑等をする機会がなかった。当局の説明も特別委員会の提案は守ったというが、自分の意見は載っていない。お互いに進め方に問題があったと思うので、もう一度修正すべきだと思う。

青山副委員長 今までの特別委員会

はなんだったのかと思う。相当な時間をかけて練ったものを出している。議員が所属していない特別委員会については、仕方がないところはある。今後可変性があると当局は言っているので変えていける余地はあると思う。

浦田委員 特別委員会でしっかり議論されたことに対しては敬意を表するが、それが当局に伝わっていないのではない。

大浦委員 皆さん最初の意見と変わらないのか。

竹原委員長 議論を聞かれたとおりで思う。

浦田委員 3カ月前の定例会において修正案が可決されたのはなぜか。中身は変わっていないのに思いが変わるのはなぜなのか。

青山副委員長 3月は中身に対して悪いという修正ではなかったと思っている。説明のあり方で時間が必要ということだった。

中川委員 中身を変えろとは言っていない。当局は十分に説明したと信念を持って言っている。それで良いのではない。

大浦委員 滑川市の財政状況で、本来にこの施設に10数億かけていいのか。機能集約をするべきではないか。

浦田委員 説明をした、しないではなく、中身を議論していただきたい。**青山副委員長** 意見のすれ違いがある。特別委員会では相当中身を詰めて話をした。複合化に関しては残念だったが、可変性がある、流動的であるという答弁もあり、1億8千万円かけて取得した地面をいつまで空き地しておくのか、どこかで判断しなければならぬ。

以上のような議論を踏まえて、採決を行い、修正案については、賛成少数で否決すべきものと決定いたしました。その後、「議案第41号」の原案について採決が行われ、「議案第41号」については賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。



＜中滑川駅前＞

6月定例会

本会議

◇6月10日に本会議を開き、まず会期を24日までの15日間と決めた後に、令和元年度一般会計補正予算や令和元年度介護保険事業特別会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案12件及び報告2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇17日、18日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行った後、市長提出議案及び請願1件を所管の各常任委員会、議会運営委員会へ付託しました。

◇最終日の24日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び議会運営委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、議案第41号に対する修正動議が浦田議員・大浦議員から提出され、修正動議に対する反対討論が中

川議員からありました。また、請願第1号に対する賛成討論が古沢議員からありました。

分離採決の結果、議案第41号については、議員提出の修正案は否決となり、原案が賛成多数で可決されました。その他の11議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

その後、請願1件の採決を行い、反対多数で不採択となりました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、6月定例会を閉会としました。

常任委員会・議会運営委員会での審査（主な質疑等）
各常任委員会への付託案件はP13をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された6議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決、または、承認すべきものと決定いたしました。

☆令和元年度滑川市一般会計補正予算（第1号）について

問 北加積小学校と早月中学校で起業体験事業を実施することのだが、事業内容を詳しく説明願う。

答 働くことを通して、起業家精神を養うものである。北加積小学校では、地域の方を講師として味噌作り体験を行い、実際に物資の購入や販売を行う。早月中学校では、花の栽培を通じた販売活動を行う予定である。チャレンジ精神、物事に積極的に取り組む姿勢や地域の方との触れ合いを通してふるさとへの愛着などを育てていきたいと考えている。

問 その起業体験事業に子どもたちは何時間ほど携わるのか。学習時間は圧迫されないか。

答 早月中学校では、科学の時間15時間、総合的な学習時間5時間の計20時間を中心に特別活動や社会に学ぶ14歳の挑戦と関連付けて実施する予定である。北加積小学校では、総合的な学習時間を核として、各教科から道徳、科学の時間、特別活動において、キャリア教育等も関連付けて実施する予定だが、時間については報告を受けておらず確認したい。学習時間が圧迫されないかについては、新学習指導要領ではカリキュラ

ムマネジメントという取り組みも紹介されており、バランスの取れた教育課程の編成に留意する。特に、当市では科学の時間もあり、そういったものを活用していきたい。

産業厚生建設委員会

付託された8議案については、慎重審査の結果、「議案第42号」、「議案第43号」、「議案第46号」、「議案第48号」から「第50号」及び「議案第52号」の7議案については賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

「議案第41号 令和元年度滑川市一般会計補正予算（第1号）」につきましましては、浦田竹昭委員より修正案が提出されました。修正案は、歳出第8款土木費 第4項都市計画費のうち、1目都市計画総務費の、滑川駅前再開発事業費1千万円と、それに対応する歳入1千万円を削減するものであり、提案の理由としては、「3月定例会以降、基本構想の再考、地元住民への説明の努力もなぐ、3月定例会と同様の予算を提出されたことは、市民、議会に対する誠意が感じられない。また、人口減少の時代を迎え、公共施設の維持管

理コストが増大する中、新たな箱物を建設することはいかがなものか。本当に滑川市、市民に必要な施設の建設計画を再考すべきではないか。」ということでありました。

修正案については、賛成少数で否決すべきものと決定いたしました。その後、「議案第41号」の原案について採決が行われ、「議案第41号」については賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。
☆令和元年度滑川市一般会計補正予算（第1号）について

◎中滑川駅周辺地区整備事業費について

問 基本構想にない機能を設計の中に入れることはできるのか。

答 基本設計において、入れる余地はある。

問 今の基本構想では、避難スペースが足りないのではないか。2階建てを3階建てにして、避難スペースを多くすると同時に、将来的にそのスペースを活用して施設の複合化につなげるような設計はできないか。

答 早い段階であれば、基本設計の中で検討する可能性もある。

（上田市長）避難場所として、津波が来ても線路は越えないという想定
 の発表があるが、中滑川駅周辺は避

難の空間である要素も考えれば、おっしゃられたことは妥当だと思うので、準備はしておきたい。

問 施設に入る民間事業者からの収入は考えているのか。また、多目的ホールの利用料等はどうか。

答 現時点では未定だが、収益があれば相応分をいただくことは可能と考えている。多目的ホールは地元の会合等であればなるべく安く使っていただき、その他の目的であればお金をいただいて間貸しすることも考えている。

（上田市長）中に入る店舗によって、利用したいスペースが違うので、レイアウトが変わってくる。少しフリーなほうがいよいのではないかと思っている。

問 備蓄倉庫について、滑川市内の備蓄品はどれくらい不足しているのか。足りていないから建てるのか。足りているが追加するのか。

答 （石川副市長）現在、備蓄倉庫は消防署と田中小学校の2箇所しかなく、災害の大きさ、場所によって必要な物資は変わってくるので、足りているということはない。

要望 食料物資をヘリコプターで運ぶことも想定されるので、ヘリポートの設置も検討いただきたい。

◎観光客誘致事業について

問 台湾美食展におけるホテルイカ
 の天ぷらについて、1日500食の想定
 とのことだが、15万人の来場者に対して、量は足りるのか。

答 展示時間に対し、天ぷらを揚げ
 る時間を考慮して、1日500食が限界
 と判断した。

☆滑川市コミュニティバス条例の
 一部を改正する条例の制定について

問 コミュニティバスの回数券販売
 について、バスの中で販売するなど、
 利用者の利便性を図って欲しい。

答 現在はみのわ、市民交流プラザ、
 生活環境課窓口での販売を検討して
 いるが、今後利用者のニーズがあれ
 ば検討していかなければならないと
 思っている。

議会運営委員会

「請願第1号」については、6月
 18日に委員会を開催し、請願者の趣
 旨説明を行うことを決定しました。

6月19日の委員会において、慎重
 審査の結果、請願第1号については
 賛成少数で不採択とすべきものと決
 定しました。

請願者から趣旨の説明を受けた後
 に、議員間での協議を行いました。

委員から、「非常に難しい問題であ
 るが、これは国で協議していただか
 なければならぬ問題でないか。自
 治体が口を出すべきではない。」と
 いった意見がありました。また、古
 沢委員から「意見書は自治体から国
 へ意見を言うもので、提出すること
 は当然である。全国知事会が全会一
 致で提言を採択したという意味は、
 これまでと同じ地位協定では、住民
 の生命と安全を守ることができない
 といった危機感からである。」とい
 った趣旨で、賛成の討論がありまし
 た。

日誌

元年5月

10日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

産業厚生建設委員会協議会

広報広聴委員会

17日 栃木県大田原市より行政視察

20〜22日 総務文教消防委員会行政視察

（大阪府高石市、岡山県瀬

戸内市、兵庫県伊丹市）

24日 総務文教消防委員会協議会

産業厚生建設委員会協議会

国道41号及び富山外郭環状

道路整備促進期成同盟会

合同総会（富山市）

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

25 日	東京滑川会総会（東京都）	9 日	北アルプス横断道路構想 推進会議令和元年度総会 （魚津市）
27 日	富山県日台友好議員連盟 理事会（富山市）	10 日	議会運営委員会協議会 定例議員協議会 （魚津市）
31 日	滑川中新川地区広域情報 事務組合議員勉強会 富山県東部消防組合臨時会 （魚津市）	12 日	沖田川中流域治水対策期成 同盟会総会
6 月	議会運営委員会 定例議員協議会 広報広聴委員会 産業厚生建設委員会協議会 6 月定例会 富山県選出国会議員との 懇談会（東京都）	18 日	第 3 回議会報告会 日中友好富山県地方議員連盟 理事会・総会（富山市）
5 日	議会運営委員会 定例議員協議会 広報広聴委員会 産業厚生建設委員会協議会 6 月定例会	22 日	公共交通問題検討特別委員会 行政視察（兵庫県六粟市、 京都府舞鶴市）
10 日	富山県選出国会議員との 懇談会（東京都）	23 日	公共交通安全問題検討特別委員会 行政視察（兵庫県六粟市、 京都府舞鶴市）
10 日	富山県選出国会議員との 懇談会（東京都）	25 日	議会運営委員会
11 日	全国市議会議長会第 95 回 定期総会（東京都）		
24 日	議会報編集委員会		
7 月	産業厚生建設委員会行政視察 （秋田県由利本荘市、北秋 田市、大仙市）		
2 日	産業厚生建設委員会行政視察 （秋田県由利本荘市、北秋 田市、大仙市）		
3 日	日台友好議員連盟総会 （富山市）		
6 日	関西滑川会総会（大阪府） 朝日滑川間国道・バイパス 建設促進期成同盟会 通常総会（魚津市） 東部山麓道路建設促進 期成同盟会総会（魚津市）		
6 日	関西滑川会総会（大阪府） 朝日滑川間国道・バイパス 建設促進期成同盟会 通常総会（魚津市） 東部山麓道路建設促進 期成同盟会総会（魚津市）		
7 日	関西滑川会総会（大阪府） 朝日滑川間国道・バイパス 建設促進期成同盟会 通常総会（魚津市） 東部山麓道路建設促進 期成同盟会総会（魚津市）		
9 日	関西滑川会総会（大阪府） 朝日滑川間国道・バイパス 建設促進期成同盟会 通常総会（魚津市） 東部山麓道路建設促進 期成同盟会総会（魚津市）		

代表 一般 質問

6 月定例会では 11 名の議員が質問を行い、37 項目について市当局の見解を求めました。
質問と答弁の主な内容は次のとおりです。
（すべての質問等詳細を記録した会議録は、9 月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。のご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。）
※質問者の最後の Q は、掲載外の質問事項です。

代表質問



公共施設のあり方について

（会派＝会派自民） 岩 城 晶 巳 議員



Q 急激な人口減少と高齢化が我々の社会経済に深刻な問題を生み出すということは、今や広く認識されている。社会保障、財政の将来が厳しい。これらを踏まえて、公共施設のあり方について議論をしていかなければならない。建設時に求められていた市民要望、目的利用方法が時代とともに大きく変化し、多くの公共施設が建設から数十年を経過し、老朽化、利用者の減少、維持管理の膨大さが全国の自治体にとって大きな問題となっている。滑川市は、この 5 年間で統廃合された施設はあるのか。

A 石坂総務部長 その必要性を検証し、その都度、施設の統合、機能集約、廃止を図ることができないか検討する。個別施設計画の策定にあたり、評価結果によっては、新たに施設の統廃合を検討する必要があると考える。

Q 滑川市一番の売りである、第 2 子保育料無料化、将来的に存続できるのか。

A 石坂総務部長 平成 30 年度は、約 1 億 5 千 800 万円、本年 10 月に国が実施する予定の幼児教育無償化に伴い、国、県より令和元年度では約 7 千 700 万円負担が行われる。国の制度よりも手厚い所得制限のない第 2 子保育料無料化、市単独の持ち出しはあるものの、これまでに以上に行財政改革の推進、施設の統合、機能集約、廃止を図ることなどにより、所要財源を確保し、本市の大変重要な事業、第 2 子保育料無料化を継続していく。

A 石坂総務部長 統合、複合化を検討することとした施設は、早川東部地区農業集落排水処理施設と浄化センター及び農村研修センターと農村環境改善センターの 4 施設を想定しており、期限まで実施できるよう検討を重ねている。この 5 年間で統廃合を行った施設はないが、平成 28 年度には衛生センターや駅前住宅を解体した。

Q 中滑川駅前整備事業、西部小学校放課後児童クラブ施設など検討されており、公共施設の統廃合をせず大丈夫なのか。

・ 観光について
・ Net3 の事業について
・ 安全安心な暮らしを目指して

代表質問



1 国民健康保険について
2 防災・減災対策について
(会派〓日本共産党議員団) 古沢利之議員



Q 昨年度から国保財政の運営に県が大きくかわることになった。国保の持つ構造的な問題を解決するためといわれてきた。国保の構造的な問題とはなんであったか。

A 藤田産業民生部長 国保は、医療費水準が高い高齢者や、保険税を負担することが困難な低所得者が多く加入しているという構造的な問題を抱えている。
Q 構造的な問題は何ら変わらないのではないか。

A 藤田産業民生部長 根本的な問題が今回の制度改正で変わったところではない。国に公費の投入を要望していくことで、改善が図られたということではないか。
Q 国保税について被保険者の負担感をどう見ているか。

A 藤田産業民生部長 保険料の負担率、1人当たりの所得に対する割合では、市町村国保が10・0%、協会けんぽは7・6%、組合健保は5・8%となっている。国保は所得が低いため負担感が高い。
Q 昨年7月の豪雨時、初めて高齢者等避難準備情報が発表された。情報提供について責任体制の明確化、組織体制等の改善策はとっているか。

A 石坂総務部長 初の避難情報の

発表でもあり、緊急速報メールの発信時刻と防災行政無線の放送時刻にタイムラグが生じ、迷惑をかけた。あらゆる情報伝達手段で住民に周知できるよう努めていく。

Q 避難所の設置・運営の訓練は実施したか。新たな課題はないか。
A 石坂総務部長 5月27日に市役所、田中小学校で実施した。避難所を開設した場合の職員の初動対応について確認した。反省する点もいくつかあり、次につなげたい。

Q 福祉避難所の訓練はどうか。
A 藤田産業民生部長 清寿荘、カモメ荘、なごみ苑、富山医療福祉専門学校で4施設で205人分の収容人員を確保している。福祉避難所の設置、運営訓練等の実施も検討したい。

Q 福祉避難所の利用についてどのように考えているか。
A 藤田産業民生部長 福祉避難所は障害者、要介護認定者、妊産婦等で、心身の健康状態に特段の配慮が必要な方を想定している。福祉避難所は二次的避難所と考えており、一般の避難所へ避難し、必要性の高い方から移動していただくと考えている。

その他質問
・子育て支援について

一般質問



1 指定管理者制度について
2 自転車保険について
尾崎照雄議員



Q 指定管理者制度の導入目的について、平成15年の自治行政局長通知には経費の縮減を目的とすると言われている。当局の認識は。

A 澤口総務課長 住民サービスの向上に加え、行政コストの縮減を図る目的を持っている。

Q 東福寺野自然公園で、ふわふわドームの修繕問題が起きたが、これは人災ではないのか。

A 荒俣公園緑地課長 適正な維持管理が行われていることから人災ではないと考える。

Q 東福寺野自然公園の臨時職員の賃金は適正か。

A 奥村財政課主幹 臨時職員については、落ち葉の掃除、草刈り、バーベキュー施設の準備から後始末と言ったような作業が中心となっている。文化・スポーツ振興財団が管理する他の日額単価と比べても同等としており、適正であると考えている。

Q 東福寺野自然公園の臨時職員の非常勤作業時における安全ミーティングへの取り組みは。

A 奥村財政課主幹 奥村財政課主幹、安全ミーティング等については、今後検討したい。

Q 職員の健康管理はされているのか。

A 奥村財政課主幹 年1回の健康診断については、週5日勤務の臨時職員については、財団負担で実施しており、週3日の臨時職員については、自己負担でお願いしている。

Q 市民の自転車保険の加入状況とその周知について伺う。

A 石坂生活環境課主幹 自転車保険の加入は、任意ということで、現在把握はしていない。県警に問い合わせたが、把握していないとの回答であった。県では本年の3月に富山県自転車活用推進条例が施行されており、自転車利用者に對する損害賠償保険加入の努力義務が規定されている。本市においても自転車保険加入を啓発していきたい。

Q 自転車保険加入の促進の取り組みについて問う。

A 石坂生活環境課主幹 滑川警察署と連携した交通安全教室を通じて、自転車の損害賠償保険への加入についての広報、啓発するとともに、他の自治体の取り組み等を参考に、市民への有効な啓発に努めていく。

一般質問



1 高齢者の交通事故対策について
2 用水・側溝の安全対策について
3 農業について

中川 勲 議員



Q 全国で高齢者ドライバーが起した重大事故は平成30年には全体の15%、460件も起きている。当市の自動車免許証の返納状況はどうか。

A 石坂生活環境課主幹 県警に確認したところ、本市の運転免許自主返納件数は、平成28年で78件、平成29年で107件、平成30年では117件であり、本年6月11日現在滑川警察署で受理されたのは60件である。

Q 高齢者が免許返納しても外出しやすい環境づくりが必要と思うが、

A 石坂生活環境課主幹 65歳以上で有効期限内に自主返納した市民に対し、コミュニティバスのフリー乗車証を交付しており、平成30年度は103人に交付している。

Q 通学路での車進入禁止区域での規制外時間帯に、子どもたちが帰っていく時間帯もある。点検が必要ではないか。

A 石坂生活環境課主幹 市のほうだけでは対応、検討が難しいので、警察と協議し、今後の検討課題とする。

Q 県内で用水や側溝に転落して高齢者が亡くなる事故が発生しているが、滑川市はどうなのか。

A 岩城建設課長 市内で発生した死亡事故で農業用水に関係するもので、平成19年から今年4月までに3件発生し、いずれも70歳以上の高齢者が犠牲となっている。

Q 市道や通学路に接近している用水路や側溝も多くあるが、安全対策・用水周辺の防犯灯の設置など考えているのか。

A 岩城建設課長 対策として、滑川市通学路安全推進会議で実施している合同点検において要対策と判断された箇所を優先に、防犯灯の設置など安全対策を検討し、順次対応していく。

Q ロボットやICT情報通信技術、ドローンなどの最新技術を活用し高品質化や省力化を目指す新たな農業が進められているが、滑川市内の状況はどうなのか。

A 黒川農林課長 当市の状況は、農業生産法人等が昨年、直線キープ機能つき田植機を導入、今年は農薬散布用ドローンの導入を予定されている。また、自走式草刈り機については実用可能か検証が実施されるなど、少しずつではあるが、ICT等を活用した農業用機械の導入が進んでいる。

一般質問



1 公共施設について
2 水災害について
3 学区制の見直しについて
4 保育料無償化について

開田 晃江 議員



Q 各組織が管理する施設の、施設カルテなどは、どのような項目が記載されているか。

A 奥村財政課主幹 カルテには、敷地の面積、延べ床面積、建築年耐用年数や、将来にわたる維持管理の経費の推移も掲載している。

Q 更新の時期を迎えている施設はどのような施設か。

A 奥村財政課主幹 建築年が古い寺家小学校や、庁舎は耐震化により長寿命化が図られている。現在では青雲閣が挙げられる。

Q 公共施設のあり方を決定する時期ということ、公共施設あり方審議会など組織する考えはないか。

A 奥村財政課主幹 次世代を見据えた場合、プロジェクトチーム等を考えていく必要がある。

Q 市内が集中豪雨に見舞われたとき、どのような状況になると予測しているか。また、そのシミュレーションなどあるか。

A 岩城建設課長 水防法が平成27年に改正され、想定最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域を指定し、公表するよう義務づけられた。市ではこれを受け、新たな洪水ハザードマップを作成する。

Q 農地の宅地化により、雨水が一気に流出するなど、大規模開発による排水の影響についてどのように考えているか。

A 石井まちづくり課長 開発前後に雨水放流量が変化するところから降雨時に開発区域外で、冠水等による被害が出ないよう、河川管理者と十分協議し、調整池を整備するなど指導している。

Q 学区の見直しで児童数のバランスを図れないか。

A 広田学務課長 今年度通学区域に関して審議会が開催される。委員として各地区自治会連合会長、学識経験者、PTA関係、小中学校長会会長等が参加する。

Q 10月からの保育料無償化に伴う仕事量を考え、担当職員の配置はどうか。事務が複雑になる、現在と新制度の仕事の違いはどれ程か、職員増は図らなくていいか。

A 落合子ども課長 新たな業務は無償化対象者の認定及び給付事務、また国の無償化と本市独自の無料化の世帯とを区別して管理・対応する必要があり、丁寧な事務が求められる。担当職員3名と、子ども課全体で対応していきたい。

一般質問



1 公共施設マネジメントについて 2 中滑川駅周辺整備基本構想について

大浦 豊 貴 議員



Q 本市の教育文化施設やスポーツレクリエーション施設などは、機能ごとに必要な施設を個々に整備してきた結果、施設数の増加に伴う維持管理費増や稼働率もさまざまとなり、効率的な施設運用が行われていない状況だと検証されているが、今現在も個々に整備されようとしていないか。

A 奥村財政課主幹 マネジメントを行うにあたり公共施設等総合管理計画に示したとおり、機能ごとに必要な施設を個々に整備を行い、施設を有することによって必要となる維持管理経費は、施設が存在する限り減少しないと考える。可能な限り、新たな施設建設を伴わない方法について検討を重ねることが重要であると考えている。

Q 現状に応じた施設整備が優先され、投資的経費の増加を招くリスクはないか。将来を見据えた施設マネジメントは行われているか。

A 奥村財政課主幹 補助率の高い国県補助金、交付税措置のある有利な起債を活用することで、投資的経費を抑制することが、財政運営上の施設マネジメントと考える。

Q 施設整備は個々の整備ではないか。児童クラブ建設場所に西加積地区公民館を移転した場合、将来的投資はなくなるのではないか。

A 奥村財政課主幹 複合化の観点からいうと、そういった考え方もあるかと思う。

Q 今この中滑川駅周辺地区整備基本構想を進めていくタイミングなのか。本市の抱える公共施設老朽化を考えた場合、長寿命化対策により既存施設が使用可能なうちに、公共施設の機能集約や単体施設計画ではなく、滑川市の全体イメージを構築するべきではないか。

A 石井まちづくり課長 先進地事例調査や民間事業者との対話、市民ニーズの把握など、これまで時間をかけて検討してきた。防災利用とともに、農産物直売所移転の話もあることから駅前広場等も含めた一体整備を早急に進めたい。

Q 中期的な建設を視野に、基本構想に市民大ホールにかわる文化会館建設を検討できないか。

A 石井まちづくり課長 正式に庁内では、基金が10億円になった時点で検討するとなっているが、課としては難しいと判断している。

一般質問



いくつになっても生きがいを持って、安心して暮らせる地域づくりのための取り組みについて

角川 真人 議員



Q 高齢者向けの地域支援事業を見ていると、運動に関するものが多く見える。運動が好きでない方や、病気などと思うように動けなくなった方のために、娯楽などの気楽な企画を検討してはどうか。

A 藤田福祉介護課長 遊びの要素を含めた活動というのは、市の行う介護予防教室には取り入れにくいと思うが、ふれあいサロンなど地域主体の通いの場を支援するため、運営スタッフ等を対象にリーダー研修会を行ったり、娯楽メニューや貸し出しのレクリエーション道具を紹介している。

Q 耳が遠くなり、人との接触を避ける方もいる。そうした方には、高価なために補聴器を使っていないという方もある程度おられる。外出するにも車の音が聞こえなくて危ないと控えることもある。補聴器の購入への補助、助成を検討するべきではないか。

A 藤田福祉介護課長 滑川市障害者等補装具費の支給に関する規則に基づき、補装具の購入や修理費用に助成を行っており、補聴器も聴覚障害者、軽度・中度難聴児への助成を行っている。

Q 今の補助は障害者手帳をもらわないと受けることができない。全国を取り組みでは、高齢者を対象に医師の診断で補聴器の購入補助を受けられるのが始まってきている。県議会でも、加齢性難聴者への補聴器購入補助の訴えがされていた。検討してほしいと思うが。

A 藤田福祉介護課長 難聴者あるいは障害者に該当しない方については、年齢を問わないと思うためバランスを含めて検討したい。

Q これからの施設改修や新設に合わせ、会議室などにヒアリングルームを内蔵設置することを検討してはどうか。

A 藤田福祉介護課長 ポータブル式の磁気ループ導入について研究してまいりたいと考えている。

Q 男性でも女性でも、高齢や病気の後遺症によりトイレに行く回数が増え、そのため外出をしないという方もいる。散歩やウォーキングのために、公共のトイレの場所をまとめた地図を作ってはどうか。

A 藤田福祉介護課長 トイレ案内を作成する予定はないが、滑川健康ウォーキングマップに表示されている。今後作成する際に考える。

一般質問



1 東加積小学校について
2 各施設について
3 コミュニティバスについて

脇坂 章 夫 議員



Q 東加積小学校敷地内の道路の両側にある側溝にグレーチングを取りつけられないか。

A 上田市長 私も心配しており指摘をしつかり受け止めたい。

Q 東加積小学校の駐車場が少ない。

A 上田市長 今度は東加積小学校の駐車場に取りかかりたい。

Q 今回の大型連休の期間中、各施設を利用された人数はどれだけか。

A 網谷観光課長 ほたるいかミュージアムの10日間の入館者数は2万2千232名である。

A 上田教育委員会事務局長 博物館304名、図書館は3千662名、子ども図書館は1千853名、屋内運動場は6団体113名、児童館は3千738名である。

A 荒俣公園緑地課長 東福寺野自然公園の入場者は10日間で8千406人で、5月3日から5日の3日だけで5千11人である。

Q 県内外からの方、外国の方は、**A** 網谷観光課長 観光客は北海道から九州まで全国に渡っていた。海外からは韓国30人の団体もあった。

A 上田教育委員会事務局長 屋内運動場は市外から5団体の利用であ

る。児童館は市外の方は2千83名で、そのうち379名は北海道ほか5府県からである。

A 荒俣公園緑地課長 東福寺野自然公園では、駐車場に多くの県外ナンバー車が見られた。

Q 各施設のよかつたところ、改善の余地、何か総評的なことを聞く。

A 網谷観光課長 揚げたてのホタルイカの天ぷらやしゃぶしゃぶは好評であった。また、湾岸クルージングがあることを知っていたいた。

A 上田教育委員会事務局長 図書館他の各施設の開館がうれしいという声や、子ども図書館では、県外の方から「素晴らしい施設でうらやましい」との声もあった。

A 荒俣公園緑地課長 ふわふわドームの1日も早い復旧を望む声があり、早急に修繕に努める。

Q コミュニティバスのフリー（自由）乗降制度ができないか。

A 石坂生活環境課主幹 フリー乗降については、ダイヤの遅れや運転手の負担増などが考えられるため、今後検討していきたい。

その他の質問
・熱中症について

一般質問



5 4 3 2 1
東加積小学校の教育環境整備について
東加積小学校の歴史について
Net3の運営体制について
中滑川駅周辺の整備について
地区公民館の利用制限について

浦田 竹 昭 議員



Q 東加積小学校の複式学級解消対策として、市採教員を含めた教員配置の検討について見解を問う。

A 広田学務課長 他市町村教育委員会とも連携し、県へ県費負担教職員の増員を要望していく。

Q 東加積小学校にコミュニティ・スクール制度の導入について、見解を問う。

A 広田学務課長 コミュニティ・スクールとは形が違うが、学校が地域と密接に連携を図る体制の整備を目指して検討している。

Q 葦輪城について、歴史的遺産としての認識について問う。

A 地崎生涯学習課長 中世城館の特徴を残す遺跡として、貴重な歴史遺産と認識している。

Q 葦輪城の跡地保全整備と、案内標識設置について見解を問う。

A 地崎生涯学習課長 城跡の遺構は、良好な状態であり、市指定文化財等には案内看板を設置するが、現在指定文化財にはなっていない。

Q Net3の運営体制の現況について問う。

A 相沢企画政策課主幹 開局から17年目を迎え、伝送路等の耐用年数が近づき、その更新整備手法が

喫緊の課題となっている。

Q 伝送路のFTTH化（光化）の早期導入の検討について問う。

A 相沢企画政策課主幹 今後のサービスの拡張性から、伝送路の光ファイバーでの整備は、早々に対策を講じていく必要があると認識している。

Q 3月定例議会での提案、中滑川駅周辺地区整備基本構想と、今回提出された内容の改善、並びに見直しをされた点について問う。

A 石井まちづくり課長 基本的には内容は変更していない。

Q 建設部施設が内容的に、市民にとって必要なものか、優先度緊急性があるか問う。

A 石井まちづくり課長 市民のニーズを反映した必要なもので、避難場所としての活用施設であり、優先度・緊急性が高い。

Q 政党・政治家の地区公民館の利用不許可について、市民の誰もが納得出来る理由について問う。

A 地崎生涯学習課長 特定の政党の利害に関する事業、公私の選挙に関し、特定の候補者を支持することは禁止されており、誤解を招く恐れがあるからである。

一般質問



- 1 オオカワヂシャについて
- 2 働き方について
- 3 交通事故防止について

青山 幸生 議員



Q 特定外来生物オオカワヂシャの最近の発生状況はどうか。

A 岩城建設課長 清水町地内を流れる四間町川において、オオカワヂシャと判断される植物が確認され、除去を行ったところである。また田中川や小林川についても発生している情報を受けている。

Q 来春に大規模な市全域の調査はできるか。

A 岩城建設課長 市内の河川等を中心に発生状況を把握したいと考えている。

Q 市全体として特定外来生物の対策はとれるか。

A 岩城建設課長 新たな特定外来種の繁殖は、もともとの生態系や河川等の機能に影響を及ぼすことから、特定外来生物を新たに発見した場合、関係機関、関係部署等と連携を図り対応したい。

Q 正規職員、嘱託職員、臨時職員の有給休暇の各消化率はどうか。

A 澤口総務課長 正規職員の平成30年中の有給休暇取得率は約15・2%、嘱託職員は約34・6%臨時職員は約43・2%である。

Q 働き方改革関連法が成立し、最

低5日の有給休暇取得を義務付けている。市としての考え方は。

A 澤口総務課長 毎年各職員に対しては夏季休暇の取得について7月・8月に集中して休みを促し、とれなかった分は9月いっぱい消化するよう依頼をしている。

Q 中学校生徒の雨具の色について教育委員会の見解は。

A 広田学務課長 自転車用雨具については、明るいもの、または反射材がついたものなど、周りからよく見え危険防止になると考えている。交通安全指導についても、入学時から随時行つて生徒の安全に努めている。

Q 徒歩の生徒の傘について雨具指定の黒、紺色を準用している。明るい色を推奨してはどうか。

A 広田学務課長 雨具、かっぱ、傘の色に関しては、学校側、生徒会、生徒の意識もあると考える。交通安全を自ら行うためには、どういうものが良いかと考える1つの提案にもなるかと思う。学校側、生徒側と協議を図りながら、連携をとつて進めていきたい。

一般質問



- 1 観光振興について
- 2 コミュニティバス事業について
- 3 中滑川周辺整備について

竹原 正人 議員



Q ほたるいカ海上観光について、今シーズンから従来の電話予約に加え、インターネット予約を早期から行った。個人客、団体客のニーズをどう把握しているのか。

A 網谷観光課長 予約枠3千人に対し、受け付け人数は2千622人で約87%の予約率で、ウェブサイトで受け付けは、1千790人で全体の約70%を占めており、個人客の申し込みに対するニーズに対応できた。団体客の予約については、欠航となった場合の対応を含め営業活動を行い、旅行会社のニーズを把握し予約につなげてまいりたい。

Q コミュニティバス事業について滑川市地域公共交通網形成計画では、バスの更新について、デマンド交通やバスの小型化など検討すべきと明記されている中、なぜ車椅子対応のバスを導入するのか。

A 藤田産業民生部長 今回老朽化した車両の更新にあたり、有利な助成金を活用することができたことから、試行的に車椅子を使用する方にも安心して利用していただくよう、購入することとした。

Q 中滑川駅周辺整備について、明確なコンセプトもないまま現在に至っている。本場に市民の皆さんが必要と考える施設になるのか。

A 石井まちづくり課長 整備内容について、近隣の皆様に伺った意見や要望、アイディアとともに中高生へのアンケート結果や市議会特別委員会からの提案等も踏まえており、市民ニーズを反映した必要なものと考えている。

A 網谷観光課長 台湾美食展は、国内外から15万人の来場者が見込まれる台湾最大級のグルメイベントである。本市を食の面からアピールし、あわせて、ほたるいカ海上観光、富山湾岸クルージングなどの観光資源をPRすることとしている。中長期的には、台湾から県内への旅行者約15万人の1割の誘客

A 上田市長 まず、おわびを先にしたい。私が委員会に出ていないこれが一番の原因である。職員の説明が不足していたのだと思う。その他の質問・安全安心について

産業厚生建設委員会行政視察

(7月2～4日)

◆秋田県由利本荘市(特産物のブランド化について)

◎由利本荘市の産品としては、米、繁殖牛、烏海りんどう、アスパラガス、ミニトマト等があり、特産品としては、日本酒、秋田由利牛、ハチミツ等が人気がある。人口減少対策として、特産品を首都圏等へ販売することで、仕事を創出し、域外からの所得流入、人口の流出を抑制することが考えられ、そのためには、特産品のブランド化、首都圏での販路拡大等が必要となる。そこで、「由利本荘市新創造ビジョン」において、新たな地域価値を創造することとし、地域商社の設立を推進し、集出荷体制の構築を図ることとした。人のつながりを活用して、首都圏のスーパーや飲食店と協定を結び、由利本荘市産品の販売や首都圏でのPRを行うこととした。また、生産者、事業者、市、農協、商工会などで組織する「由利本荘丸ごと売り込み推進協議会」を設立し、官民一

体となった戦略的な取り組みを行っている。

また、農家の所得向上のため、米に変わる特産品として、アスパラガス、烏海りんどう、畜産などの振興を行っている。



＜由利本荘市役所＞

◆秋田県北秋田市(北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」について)

◎移転した中央病院の跡地利用を検討する中で、駅前から続く商店街の活性化や老朽化した中央公民館の代替施設として、「憩い」、「交流」、「賑わい」をコンセプトに施設を建設することとなった。

建設にあたっては、設計業務をプロポーザルで実施し、市民代表による利活用検討委員会を設置して、委員会での意見を設計に反映させた。総事業費は約22億円、財源としては社会資本整備総合交付金や合併特例債を活用し、一般財源の負担は約5億5千万となっている。

施設の中には多目的ホール、調理実習室、研修室、学習スペース、音楽スタジオ、創作スタジオ、カフェ等があり、起業を目指す人の経験の場として、最長2年間利用できるチャレンジブースを設けている。

平成28年9月のオープン以来、約87万人が訪れており、賑わいの創出としては一定の評価はできるが、商店街の活性化にまではつなげていないとのことだった。

◆秋田県大仙市(新規就農者の支援及び農業の後継者対策について)

◎大仙市の農業は米に大きく依存している。そのため、園芸作物の栽培を奨励している。平成27年度からはJAが主体となってトマトの大規模団地を整備し、産地化を推



＜北秋田市民ふれあいプラザコムコム＞

進している。また、大豆産地化推進事業として、品質区分1・2等級割合が全出荷量の50%以上の経営体に、市が上乗せして助成金を交付している。農業の担い手としては、農業法人が増えており、個人や営農組織から法人への移行が進んでいる。新規農業者は平成17年から29年までの13年間で226人が就農している。市単独で2箇所の研修施設を運営しており、78人が修了し、現在は12名が研修中である。新規就農者の支援としては、模範となる若手農業者を表彰した

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、9月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。



＜大仙市新規就農者研修所＞

り、機械・施設の導入を支援するために県の補助に上乗せして補助を行っている。

新規就農者研修施設では、県職員OBが農業専門技術員として2名、嘱託職員として配置され、研修生の指導に当たっている。課題としては、研修生は助成金をもらいながら研修を行い、研修のないときは実家や地元の農業法人の手伝いをしているが、研修の縛りも厳しくなっており、実際に研修だけで生活を行うことは難しいと思われる。また、新規の農地確保については、法の縛りもあり難しい部分がある。



＜滑川駅での配布の様子（7/10）＞



7月18日に開催された議会報告会の案内チラシを、あいの風とやま鉄道滑川駅前とふるさと龍宮まつり会場で配布しました。

議会報告会案内チラシ配布

（7月10日・13日）

広報公聴委員会が中心となり、両会場合わせて約600枚のチラシを配布しました。

今後もしろいろな形で市議会のPRに努めて参ります。



＜ふるさと龍宮まつりでの配布の様子（7/13）＞



厚生連との懇談会

（7月10日）



＜懇談会の様子＞

7月10日に富山県厚生連役職員の皆さんと懇談会を開催しました。

厚生連からは、西川理事長をはじめ10名の参加、市議会は全議員が参加しました。

懇談会では、厚生連滑川病院の業務運営状況について説明を受けた後、質疑応答に移り、医師の確保、病院の経営改善、患者の受け入れ体制、地域医療の在り方等について意見交換を行いました。

陳情・要望書

件名及び提出者	処理結果
・ 請願 (1 件)	
1 「日米地位協定の抜本改定を求める意見書」採択を求める請願書……………不採択 滑川 9 条をイカす会 柴田 隆光 外 1 名	
・ 要望書 (4 件)	
1 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情 ……………全議員へ参考配布 「新しい提案」実行委員会 代表 安里 長従	
2 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情 ……………全議員へ参考配布 全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之	
3 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情……………全議員へ参考配布 宜野湾市民の安全な生活を守る会会長 平安座唯雄	
4 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書 ……………全議員へ参考配布 一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 寛	

議決結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第41号	令和元年度滑川市一般会計補正予算(第1号)	総産	原案可決
議案第42号	令和元年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第43号	令和元年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第44号	滑川市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第45号	滑川市長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第46号	滑川市コミュニティバス条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第47号	滑川市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第48号	滑川市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第49号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第50号	滑川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第51号	工事請負契約の締結について	総	原案可決
議案第52号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて	総産	原案承認
請願第1号	「日米地位協定の抜本改定を求める意見書」採択を求める請願書	議	不採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、議：議会運営委員会

賛否一覧表

議 案 議員名	会 派 自 民				共産党 議員団		無 会 派							
	原 明	岩 城 晶 巳	中 川 勲	高 橋 久 光	角 川 真 人	古 沢 利 之	大 浦 豊 貴	脇 坂 章 夫	青 山 幸 生	竹 原 正 人	尾 崎 照 雄	浦 田 竹 昭	開 田 晃 江	
議案第41号	／	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	
令和元年度滑川市一般会計補正予算（第 1 号）														
議案第41号修正案	／	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	
令和元年度滑川市一般会計補正予算（第 1 号）から都市計画費1,000万円を減額する修正案 （提案者・・・浦田議員、大浦議員）														
請願第 1 号	／	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
「日米地位協定の抜本改定を求める意見書」採択を求める請願書														
議案第42号から 議案第52号	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※賛成者は○、反対者は●、退席者は退としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。
※議案第41号の反対についてはP2、P3をご覧ください。



議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 47512111
(内線371)

【議会報編集委員】
角川真人委員長
岩城晶巳副委員長
竹原正人委員
尾崎照雄委員
開田晃江委員

9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
9月2日(月)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
9日(月)	10時	代表、一般質問
10日(火)	10時	一般質問
11日(水)	10時	総務文教消防委員会
12日(木)	10時	産業厚生建設委員会
13日(金)～20日(金)	10時	決算特別委員会
25日(水)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決